

ら、改善どころか、悔いを次の代に残すことになるので私は一日も早く流域住民が自覚してひとりひとりひとりの立場に於て、自然を自守し、公害を防衛することを念願としてやまない。

先般、土浦の自然を守る会が、雨天にもかかわらず桜川句橋附近の河川敷を清掃し、桜川の美化と活用について、一万四千余名の署名になる陳情書を箱根土浦市長に手渡したが、このことが市政の上でどう反映されるかは別問題として、それよりも若い世代の人々が現代の社会感からこれではいけないと自覚して、現実自然を守るうと立あがったことに意義があり、こうでなければ、川は決してきれいにはならない、この善意が一つより二つに大きく流域全体に広がって行った時始めて川は美化されて昔の姿にたちかえり、再びわれわれの生活に恩恵を与えてくれるものと確信してやまない。

(つり評論家)